

岩見沢市地域公共交通

再編実施計画

<概要版>

平成 29 年 6 月

岩見沢市

目 次

1	岩見沢市地域公共交通再編実施計画の基本的な考え方.....	- 1 -
2	再編後の市内バス路線	- 2 -
	再編後の市内バス路線図（全体図）	- 2 -
(1)	かえで団地循環線の概要.....	- 3 -
(2)	日の出台・栄町循環線の概要	- 4 -
(3)	鉄北循環線の概要	- 5 -
(4)	南町・春日循環線の概要.....	- 6 -
(5)	大和線の概要	- 7 -
(6)	幌向線の概要	- 8 -
(7)	万字線の概要	- 9 -
(8)	三笠線の概要	- 10 -
(9)	岩見沢美唄線の概要	- 11 -
(10)	月形線の概要	- 12 -
(11)	岩見沢長沼線（旧：長岩線①）線の概要	- 13 -
(12)	岩見沢栗山線（旧：長岩線②）線の概要	- 14 -
(13)	岩見沢三川線の概要	- 15 -
(14)	夕張線（旧：岩夕線）の概要	- 16 -
(15)	北新線の概要	- 17 -
3	交通空白地域での新たな公共交通	- 18 -
4	事業の効果.....	- 19 -
5	バス路線見直し案に対する市民意見	- 20 -

1 岩見沢市地域公共交通再編実施計画の基本的な考え方

〔背景〕

- ・市内を走る民間バス路線の利用者の減少〔約4割減少〕
（中央バスの利用者数：平成17年度3,169千人 → 平成27年度1,872千人）
- ・市内を運行するバス路線に対する市の負担額の増額〔2倍以上に増加〕
（平成21年度16,171千円 → 平成27年度42,522千円）
- ・バスサービスに対する市民の不満
（H26住民ニーズ把握調査：約47%が「不満」・「やや不満」と回答）
- ・高齢化社会において、今後想定される持続可能な公共交通の確保
（岩見沢市人口ビジョン：市の高齢化率 平成27年32.6% → 平成37年37.2%）

〔経過〕

平成25年 交通政策基本法

平成26年 地域公共交通の活性化及び再生に関する法律 改正



地方自治体を中心となって、まちづくりと連携した面的交通ネットワークを構築

▼平成26年度

- ・住民ニーズ把握調査（市内10,000世帯へアンケート）
- ・バス利用実態調査（全路線全便での乗降調査）
- ・地域公共交通活性化協議会 設置（平成27年1月）
（構成員：市、交通事業者、道路管理者、警察、学識経験者、利用者の代表等）

▼平成27年度

- ・生活交通ビジョン 策定（平成27年4月）
- ・乗合タクシー実証運行（大願、峰延、北村大願、北村中小屋）
- ・終発時刻繰り下げ運行実証実験（栄町線：22時台）
- ・まちなか交流拠点創出プロジェクト
（まちなか公開講座、コミュニティカフェ、バスロケーションシステム）

▼平成28年度

- ・地域公共交通網形成計画 策定（平成28年6月）
- ・地域公共交通網形成計画に基づいた再編案の具体的な検討

〔再編の目的〕

- ・わかりやすく、利便性の高い公共交通網の構築
- ・持続性があり、市民が使いやすい公共交通網の構築
- ・バス路線の重複区間の解消や利用実態・ニーズ等を考慮した市内バス路線の運行改善

〔バス路線再編のポイント〕

＜バスを利用しない理由＞

- ・複雑でわかりづらい
- ・目的地へ直行しない
- ・時間どおりにバスが来ない
- ・どの路線に乗ってよいかわからない
- ・ちょうどよい時間の便がない

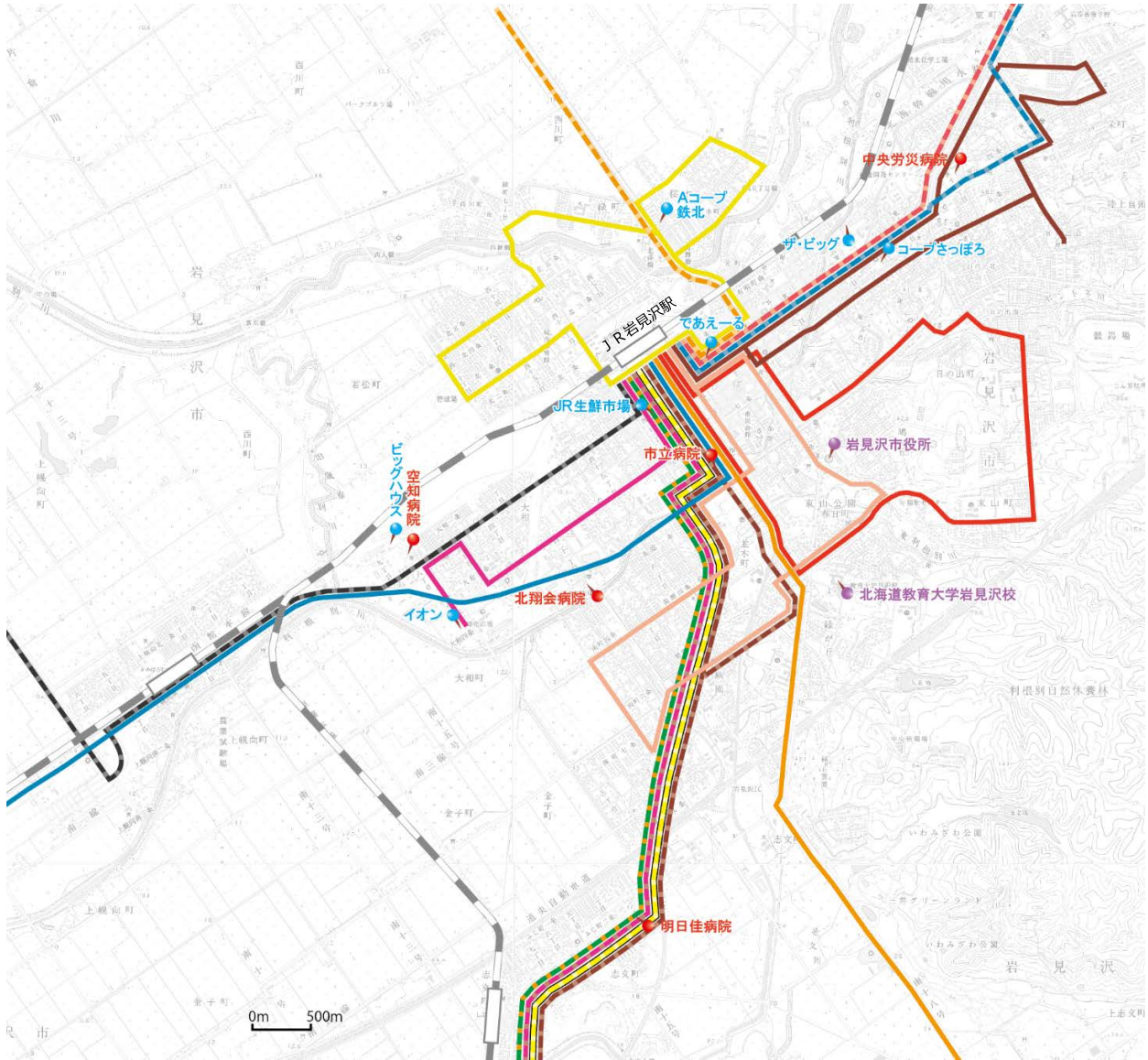


＜再編による改善＞

- ・方面別に4つの循環線
- ・遠回りの解消
- ・狭い道路から広い道路へのルート変更
- ・重複箇所の解消
- ・利用状況に応じたダイヤ・便数への変更
- ・JRとの乗継に配慮したダイヤ

2 再編後の市内バス路線

再編後の市内バス路線図（全体図）

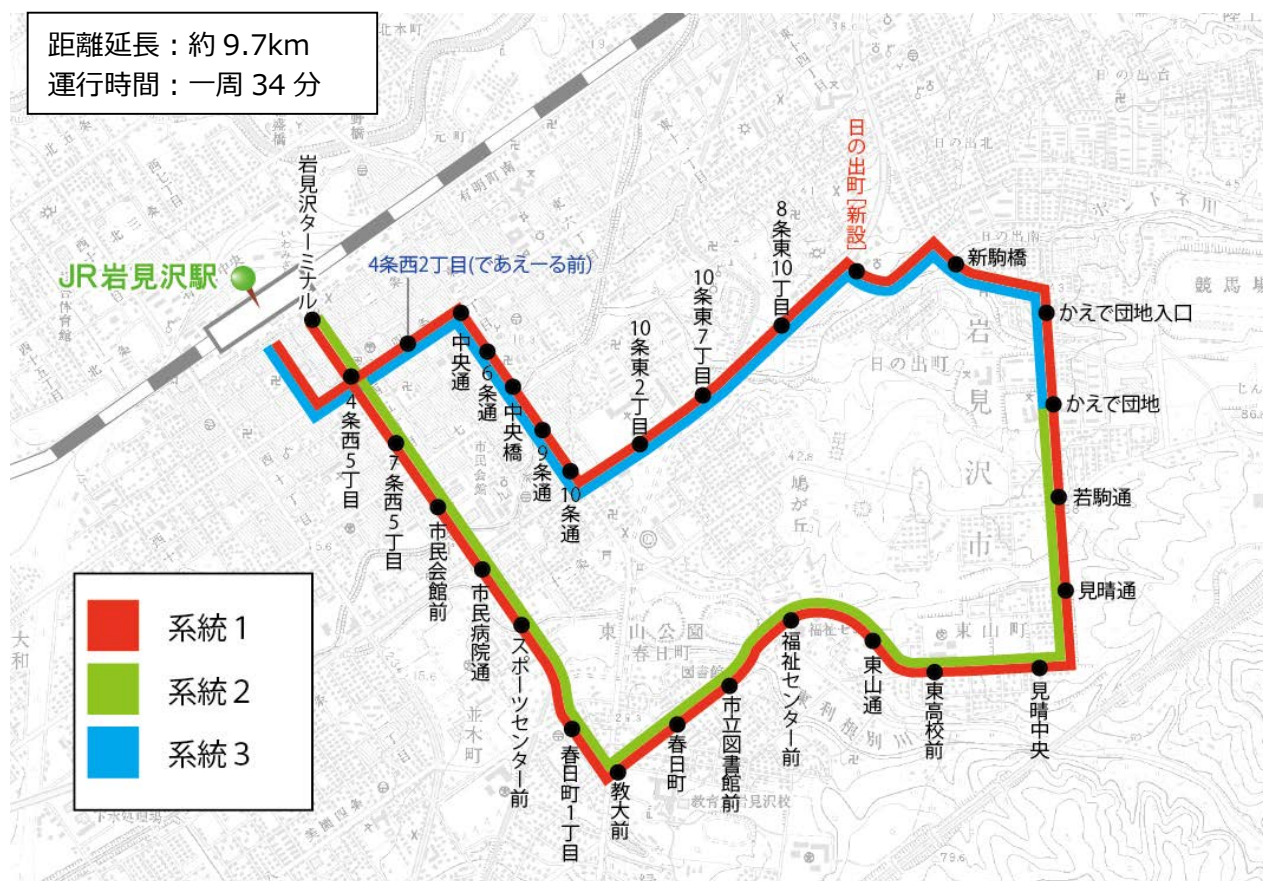


路線	路線名	運行区間
	かえで団地循環線	岩見沢ターミナル - 教大前 - かえで団地 - 新駒橋 - 岩見沢ターミナル
	日の出・栄町循環線	岩見沢ターミナル - 6条通 - 日の出 - 栄町 - 岩見沢ターミナル
	鉄北循環線	岩見沢ターミナル - 元町 - (桜木経由) - 市営球場前 - 岩見沢ターミナル
	南町・春日循環線	岩見沢ターミナル - 市立病院前 - 木工団地 - 市役所前 - 岩見沢ターミナル
	大和線	岩見沢ターミナル - 稲穂児童館 - イオン岩見沢店
	幌向線	岩見沢ターミナル - 上幌向駅前 - 南4条つくし公園
	万字線	岩見沢ターミナル - グリーンランド - 毛陽交流センター
	三笠線	岩見沢ターミナル - 三笠市民会館 - 幾春別町
	岩見沢美唄線	岩見沢ターミナル - イオン三笠店 - 美唄駅前
	月形線	岩見沢ターミナル - 北村支所前 - 月形駅前
	岩見沢長沼線 (旧長岩線①)	岩見沢ターミナル - 志文市街 - 栗沢駅前 - 栗山駅 - 長沼ターミナル
	岩見沢栗山線 (旧長岩線②)	岩見沢ターミナル - 志文市街 - 栗沢駅前 - 栗山駅
	岩見沢三川線	岩見沢ターミナル - 志文市街 - 栗沢駅前 - 栗山駅 - 三川駅通
	夕張線 (旧岩夕線)	岩見沢ターミナル - 志文市街 - 栗沢駅前 - 栗山駅 - レースイリゾート
	北新線	岩見沢ターミナル - 上幌向 - たっぶの湯

(1) かえで団地循環線の概要

- ・従来のかえで団地線の2系統を統合した循環路線とし、通勤や通学、通院等の利用目的に応じた利便性を高める。
- ・終発時刻を「21:30」以降に設定することにより、通勤・通学者の帰宅交通の利便性を高める。
- ・中心市街地の拠点施設である「であえーる」を経由することで、まちなかまでのアクセス改善や利用者が乗換しやすい環境構築を図る。
- ・循環路線化により、運行便数の効率化を図り、運行収支の改善を図る。

■路線図（赤色は新設停留所、青色は、かえで方面の路線としては新たに停車する停留所）



■運行便数

		平日便数	始	終	休日便数	始	終
系統 1 (循環)	東高先	13.0	7:03	20:05	9.0	7:45	18:35
	国道先	13.0	7:15	21:37	8.0	9:20	21:37
系統 2	往:かえで発 復:かえで着	往 1.0	往 6:35	往 7:05	往 1.0/復 0.5	往 6:35	復 20:05
系統 3	往:かえで発	往 0.5	往 7:00	-	往 0.5	往 7:00	-

※系統 2・3 の運行は、往路・復路を各 0.5 便として記載

■運賃体系（記載停留所間の運賃を抜粋）

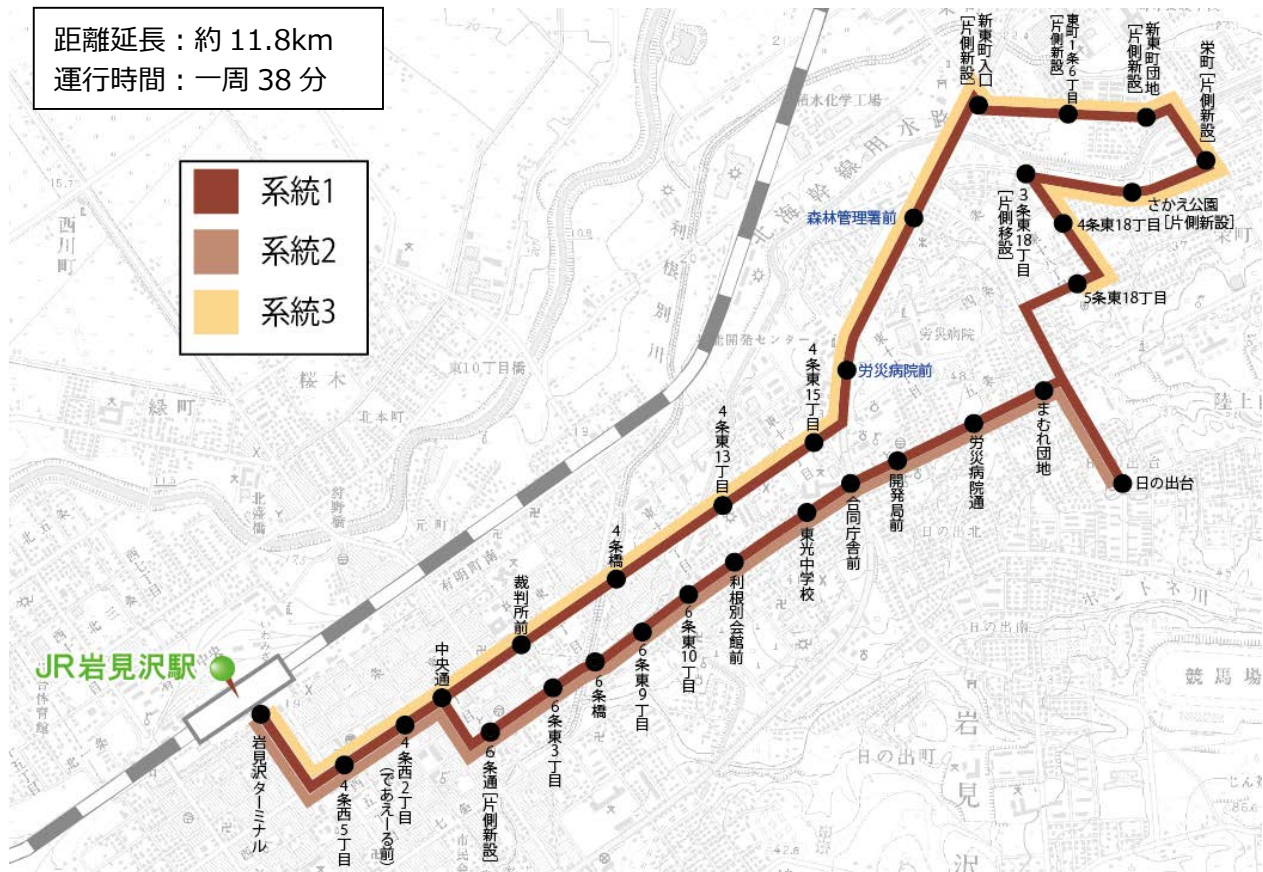
（単位：円）

		岩見沢ターミナル	
		かえで団地	190
		教大前	190
岩見沢ターミナル		190	190

(2) 日の出台・栄町循環線の概要

- ・従来の栄町線と日の出台線を統合した循環路線とし、通勤や通学、通院等の利用目的に応じた利便性を高める。
- ・終発時刻を「22:30」以降に設定することにより、通勤・通学者の帰宅交通の利便性を高める。
- ・循環線の両回りで「であえーる」を経由することで、まちなかへのアクセスを向上する。
- ・循環路線化により、運行便数の効率化を図り、運行収支の改善を図る。

■路線図（青色は、日の出台・栄町方面の路線としては新たに停車する停留所）



■運行便数・始発・終発

	先回り	平日便数	始	終	休日便数	始	終
系統1 (循環)	日の出台	14.0	7:02	20:15	12.0	7:02	21:10
	栄町	18.0	6:30	22:35	13.0	6:30	21:33
系統2	往:日の出台発 復:日の出到着	往 0.5/復 0.5	往 6:35	復 20:40	-	-	-
系統3	往:5東18発	往 0.5	往 6:27	-	往 0.5	往 6:27	-

※系統2・3の運行は、往路・復路を各0.5便として記載

■運賃体系（記載停留所間の運賃を抜粋）

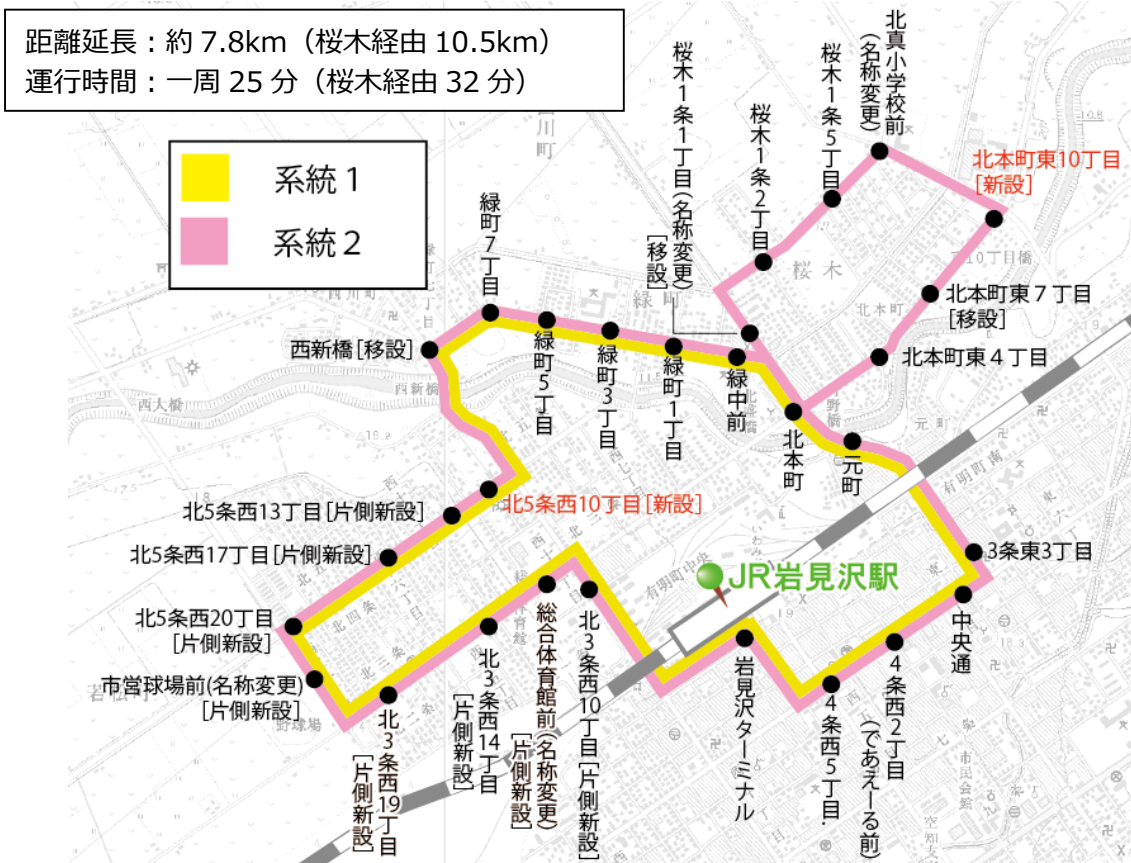
（単位：円）

		岩見沢ターミナル		
			4条東15丁目	190
			栄町	190
		日の出台	190	190
岩見沢ターミナル	190	190	190	190

(3) 鉄北循環線の概要

- ・従来の緑が丘・鉄北循環線（駅北地区）、鉄北線及び桜木循環線を統合した循環路線とし、重複区間を解消するとともに、通勤や通学、通院等の利用目的に応じた利便性を高める。
- ・従来の鉄北線や桜木循環線と比較し、両回りを使うことで運行便数が増え、通院や買い物等の利便性を高める。
- ・終発時刻を「21:30」以降に設定することにより、通勤・通学者の帰宅交通の利便性を高める。
- ・中心市街地の拠点施設である「であえーる」を経由することにより、まちなかへのアクセシビリティを向上させる。

■路線図（赤色は新設停留所）



■運行便数・始発・終発

	先回り	平日便数	始	終	休日便数	始	終
系統 1 (循環)	鉄北	6.0	7:40	20:40	6.0	7:40	20:40
	であえーる	4.0	7:00	20:05	3.0	7:00	16:40
系統 2 (桜木：循環)	鉄北	4.0	6:40	18:05	3.0	8:45	18:05
	であえーる	4.0	8:10	21:35	3.0	14:15	21:35

■運賃体系（記載停留所間の運賃を抜粋）

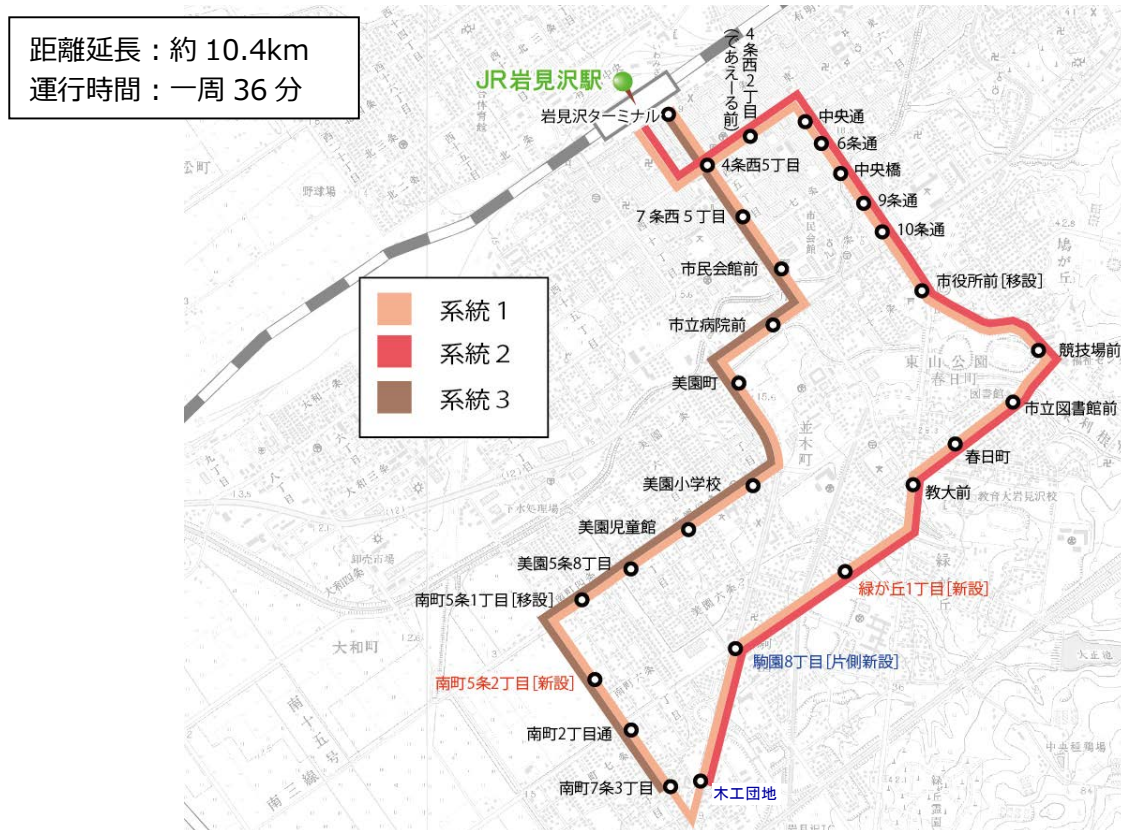
（単位：円）

			岩見沢ターミナル	
			4 条西 2 丁目	190
			緑町 7 丁目	190
		北 3 条西 19 丁目	190	190
岩見沢ターミナル		190	190	190

(4) 南町・春日循環線の概要

- ・従来の志文団地線の「流通団地入口」～「志文団地間」は、栗沢・栗山方面と結ぶ路線と重複することから、重複を解消し、路線の効率化を図る。
- ・美園・南町地区から、幌向線においてルートから外れる市役所や図書館などへ接続する循環線とすることで、美園・南町地区における利便性を高める。
- ・南町及び鳩が丘の一部路線は、狭隘道路を運行しており、冬期に迂回運行や運休が発生する原因となるため、安全性・定時性確保の観点から、狭隘道路の区間を廃止とし、広い道路への経路変更を行う。
- ・終発時刻を「21:30」以降に設定することにより、通勤・通学者の帰宅交通の利便性を高める。

■路線図（赤色は新設停留所、青色は南町方面[統合した幌向線の迂回箇所含む]としては新たに停車する停留所）



■運行便数・始発・終発

	先回り	平日便数	始	終	休日便数	始	終
系統1 (循環)	市役所	13.0	7:25	21:40	9.0	7:25	21:40
	美園	13.0	7:30	20:10	10.0	9:00	20:10
系統2	往:木工団地発 復:木工団地着	往 1.0	往 6:45	往 7:15	往 1.0/復 1.5	往 6:45	復 20:40
系統3	往:南町 7-3 発	往 1.0	往 6:45	往 7:15	往 1.0	往 6:45	往 7:15

※系統2・3の運行は、往路・復路を各0.5便として記載

■運賃体系（記載停留所間の運賃を抜粋）

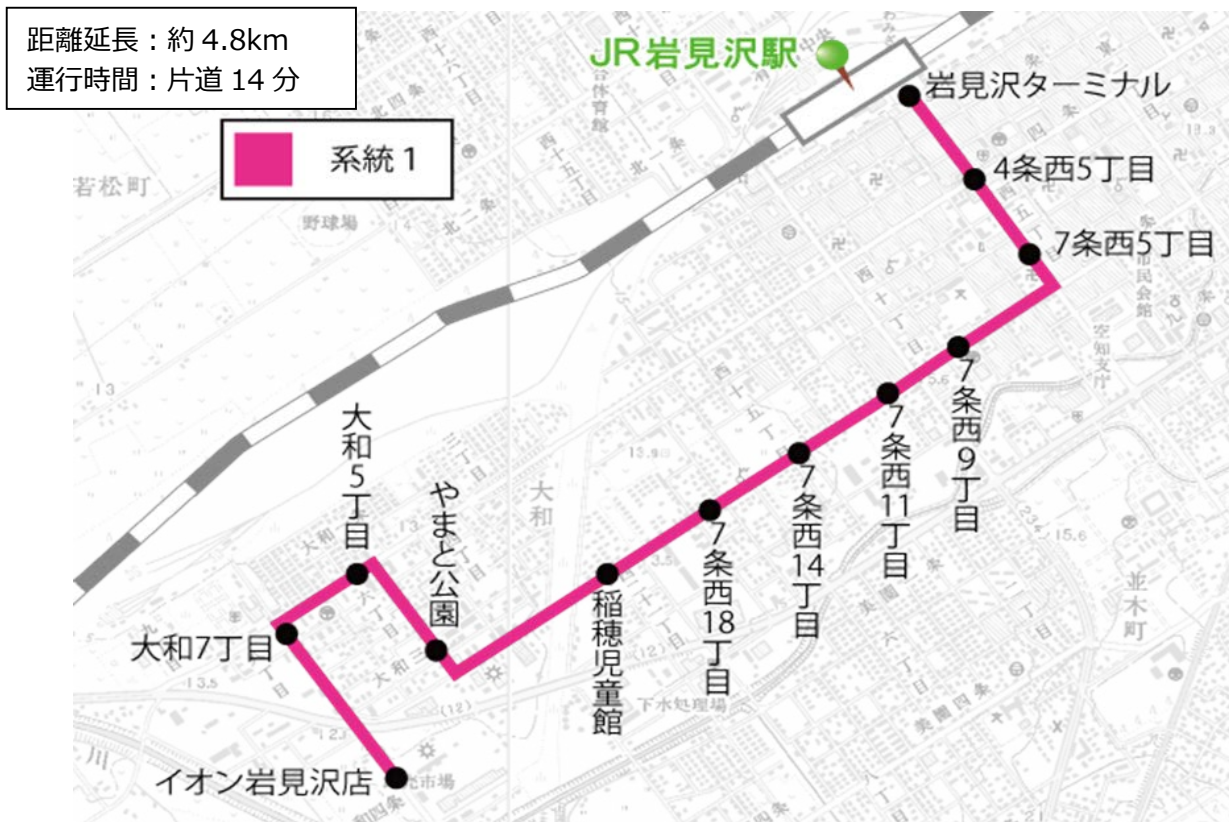
（単位：円）

				岩見沢ターミナル
			4条西2丁目	190
		駒園8丁目	190	190
	美園5条8丁目	190	190	190
岩見沢ターミナル	190	190	190	190

(5) 大和線の概要

- ・岩見沢ターミナルと商業施設である「イオン岩見沢店」や「大和タウンプラザ」などを結ぶ、バス利用者の買い物行動を支える生活路線であり、現状維持とする。

■路線図



■運行便数・始発・終発

	起点	平日便数	始	終	休日便数	始	終
系統 1	岩夕発	10.0	8:20	18:35	7.0	8:20	17:35
	イオン発	10.0	7:45	18:00	8.0	7:45	17:55

■運賃体系（記載停留所間の運賃を抜粋）

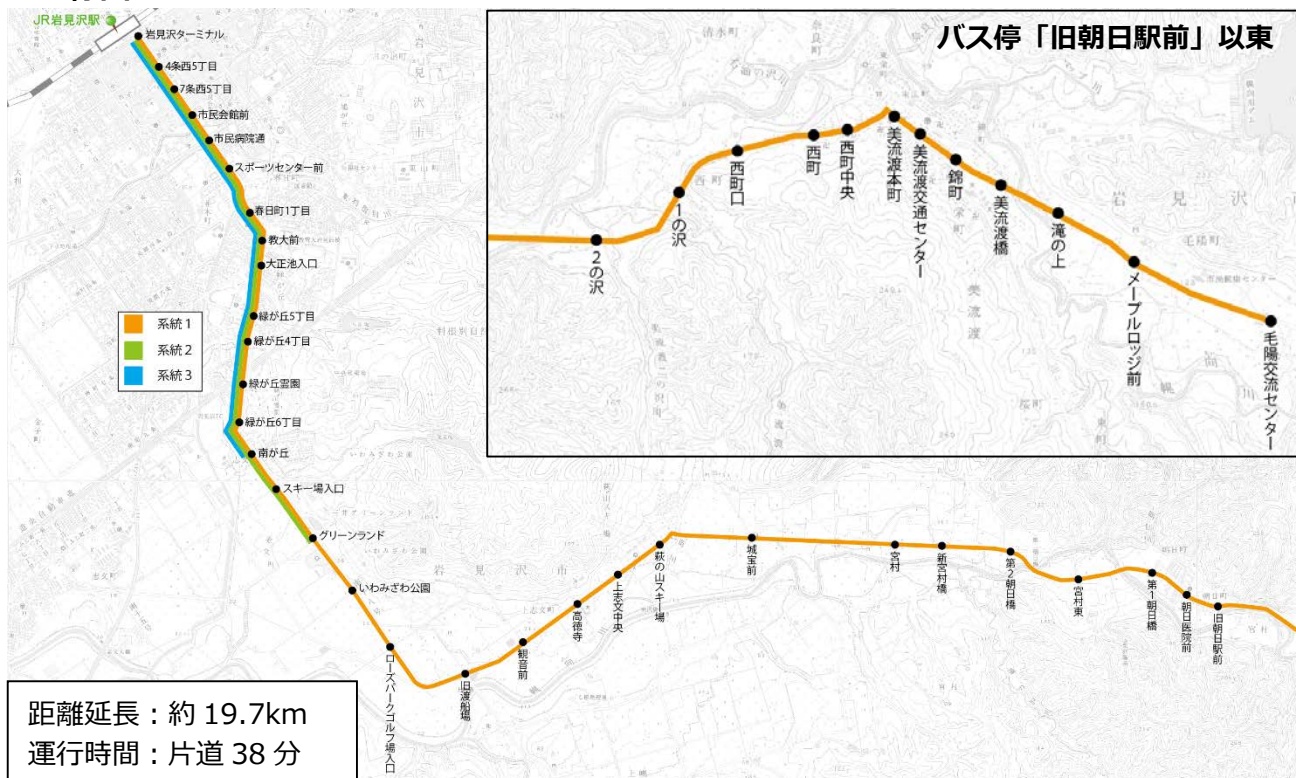
（単位：円）

		イオン岩見沢店	
		やまと公園	190
		4 条西 5 丁目	190
岩見沢ターミナル	190	190	190

(7) 万字線の概要

- ・従来の緑が丘・鉄北循環線（緑が丘地区）と万字線の路線が一部重複していることから、路線の分かりやすさの向上及び経営改善のために統合し、重複を解消する。
- ・南が丘行（日祝や夏・冬休みは一部グリーンランド行）の系統を設けることにより、緑が丘地区の生活の足や、グリーンランドなどへの観光の足を確保する。

■路線図



■運行便数・始発・終発

	起点	平日便数	始	終	休日便数	始	終
系統 1	岩夕発	7.0	7:25	19:13	6.0	7:25	17:05
	毛陽発	8.0	6:35	17:55	6.0	8:25	17:55
系統 2	岩夕発	9.0	8:10	19:40	6.0	9:05	18:05
	南が丘発 (グリーンランド発)	7.0	6:45	19:20	7.0	7:21	17:15

■運賃体系（記載停留所間の運賃を抜粋）

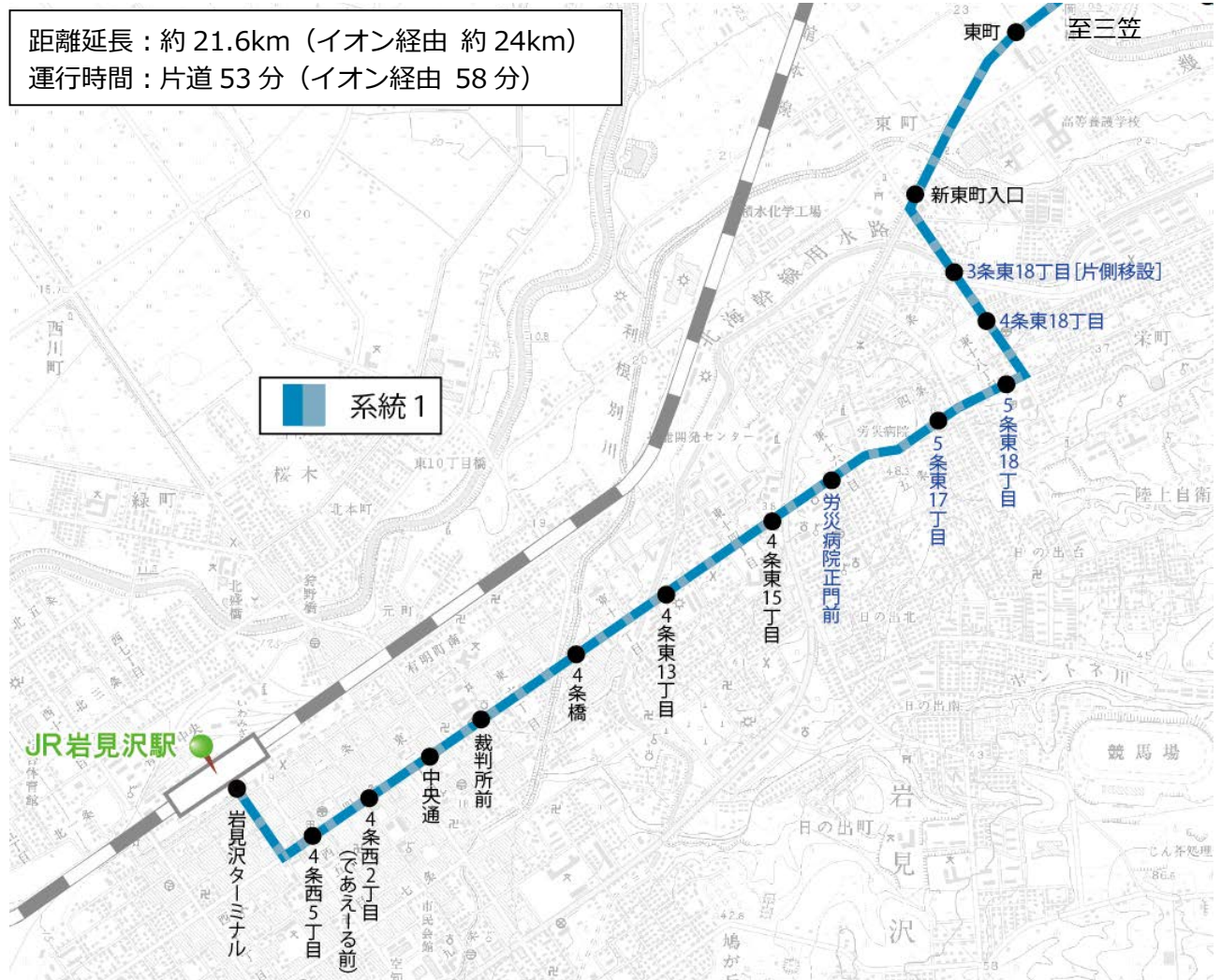
（単位：円）

			毛陽交流センター	
			旧朝日駅前	300
			いわみざわ公園	580
			緑が丘霊園	650
岩見沢ターミナル	190	210	550	730

(8) 三笠線の概要

- ・従来の栄町線及び岩見沢美唄線と路線が一部重複していることから、効率的な運行のために統合し、重複を解消する。

■路線図（青色は、三笠線としては新たに停車する停留所）



■運行便数・始発・終発

	起点	平日便数	始	終	休日便数	始	終
系統 1	岩夕発	18.0	6:35	21:35	10.0	7:00	21:35
	幾春別発	18.0	6:15	20:15	10.0	6:50	20:10
系統 1 (イオン経由)	岩夕発	12.0	7:20	19:10	11.0	9:00	19:00
	幾春別発	12.0	7:35	19:15	11.0	9:30	19:30

※三笠市民会館発～幾春別町着除く

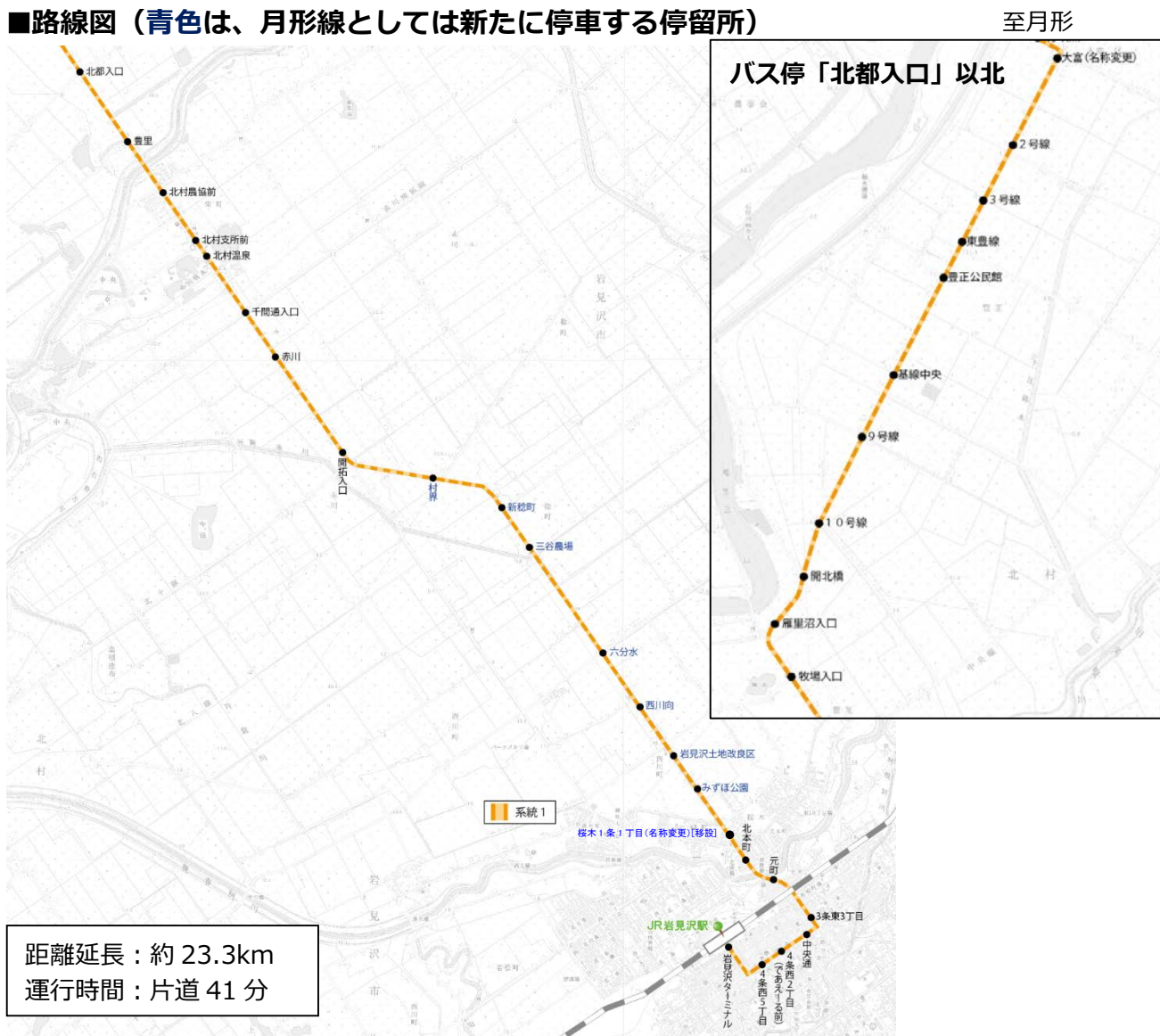
■運賃体系（記載停留所間の運賃を抜粋）

					(単位：円)	
					幾春別町	
					藤枝町	190
					三笠市民会館	350
					東町	550
					新東町入口	550
岩見沢ターミナル	190	230	440	500	560	

(10) 月形線の概要

- ・従来の北村線と月形線の路線が一部重複していることから、路線の分かりやすさの向上及び経営改善のために統合し、重複を解消する。
- ・道路状況の良い道道岩見沢月形線を運行することで、冬期の安全性及び定時性を確保する。
- ・郊外から中心市街地に直行することで、速達性を確保する。

■路線図（青色は、月形線としては新たに停車する停留所）



■運行便数・始発・終発

	起点	平日便数	始	終	休日便数	始	終
系統 1	岩夕発	8.0	7:45	19:05	8.0	7:45	19:05
	月形駅前発	9.0	6:43	18:45	8.0	7:00	18:45

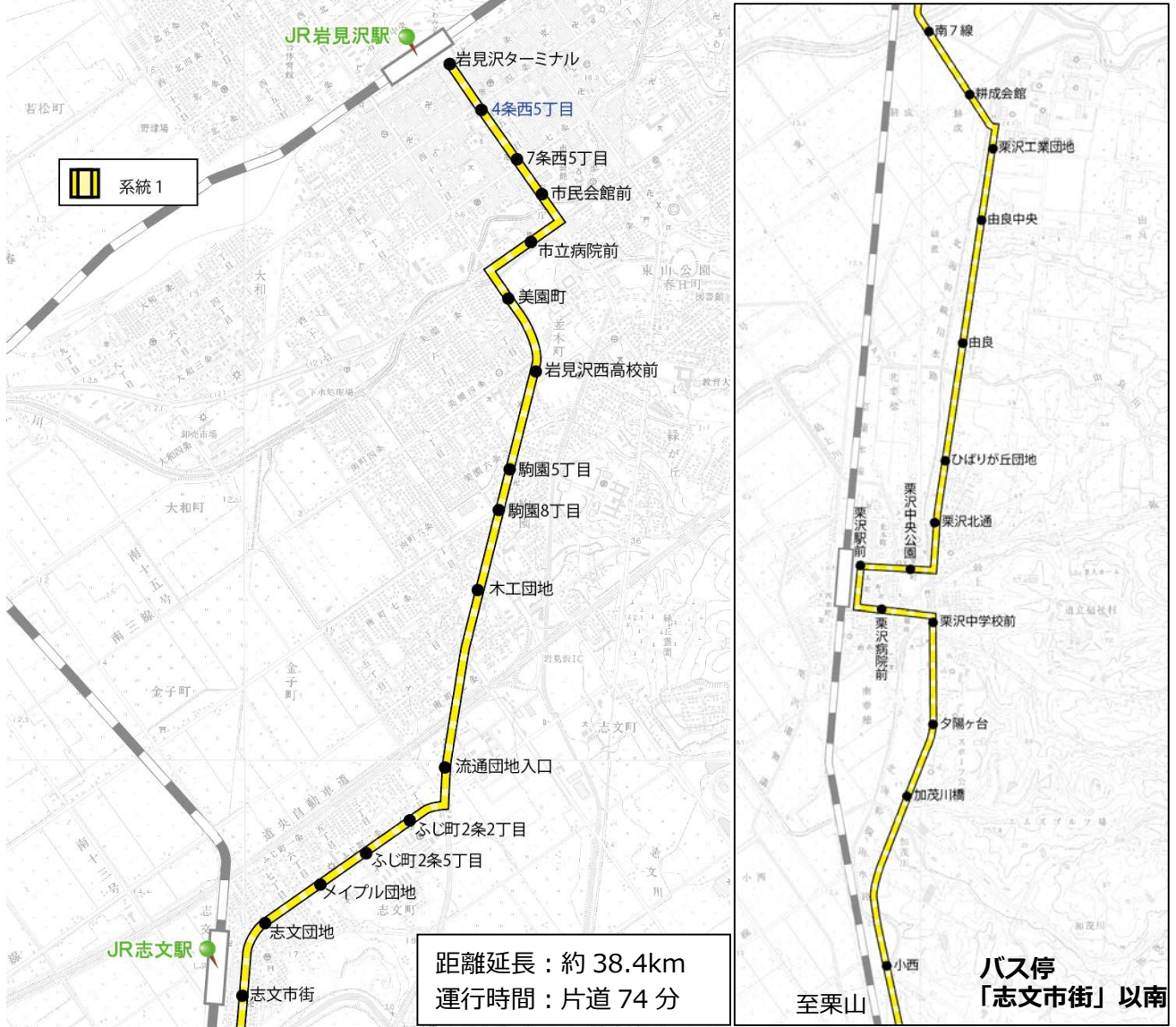
■運賃体系（記載停留所間の運賃を抜粋）

				(単位：円)	
				月形駅前	
				大富	230
				北村農協前	470
				西川向	670
岩見沢ターミナル	190	430	670	770	

(11) 岩見沢長沼線（旧長岩線①）線の概要

- ・岩見沢～長沼間を運行する唯一の路線であり、沿線住民の通勤・通学、買い物等の生活の足の確保に必要であり、原則、現状維持とする。
- ・西6丁目を運行していた路線を、安全性・速達性の観点から駅前通へ変更する。

■路線図（青色は、栗山方面の路線としては新たに停車する停留所）



■運行便数・始発・終発

	起点	平日便数	始	終	休日便数	始	終
系統 1	岩夕発	5.0	10:13	18:03	5.0	10:13	18:03
	長沼夕発	6.0	7:01	17:28	5.0	7:01	17:28

※栗山発～長沼ターミナル着除く

※由仁駅前発を含む

■運賃体系（記載停留所間の運賃を抜粋）

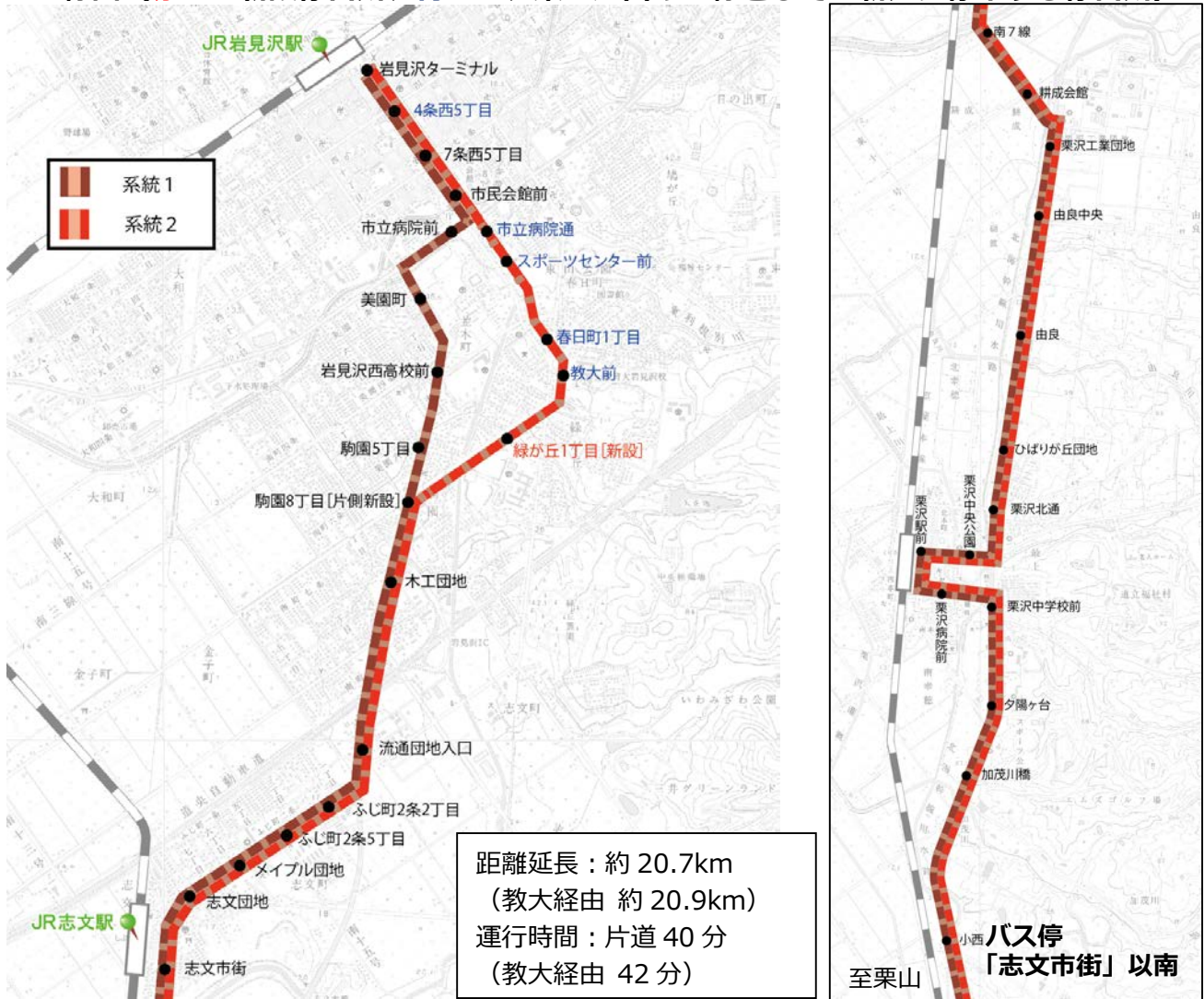
（単位：円）

			長沼ターミナル	
			栗山駅前	370
			栗沢駅前	640
木工団地			330	1050
岩見沢ターミナル	190	390	590	1070

(12) 岩見沢栗山線(旧長岩線②)線の概要

- ・ 駒園8丁目～市立病院間は、岩見沢西高や岩見沢農業高への通学時間帯は一定の利用者がいるが、それ以外の時間帯は利用者が少ないため、教育大学周辺と中心市街地間の利便性向上のため、教育大を経由するルートを実行する。
- ・ 西6丁目を運行していた路線を、安全性・速達性の観点から駅前通へ変更する。

■路線図(赤色は新設停留所、青色は、栗山方面の路線としては新たに停車する停留所)



■運行便数・始発・終発

	起点	平日便数	始	終	休日便数	始	終
系統1 ~9:00/15:00~	岩夕発	5.0	7:35	20:33	4.0	8:03	20:33
	栗山駅発	3.0	6:52	14:50	2.0	6:52	14:50
系統2 9:00~15:00	岩夕発	4.0	9:03	12:53	3.0	9:03	12:53
	栗山駅発	5.0	9:35	14:10	4.0	9:35	14:10

※栗沢工業団地発及び栗沢駅発着含む

■運賃体系(記載停留所間の運賃を抜粋)

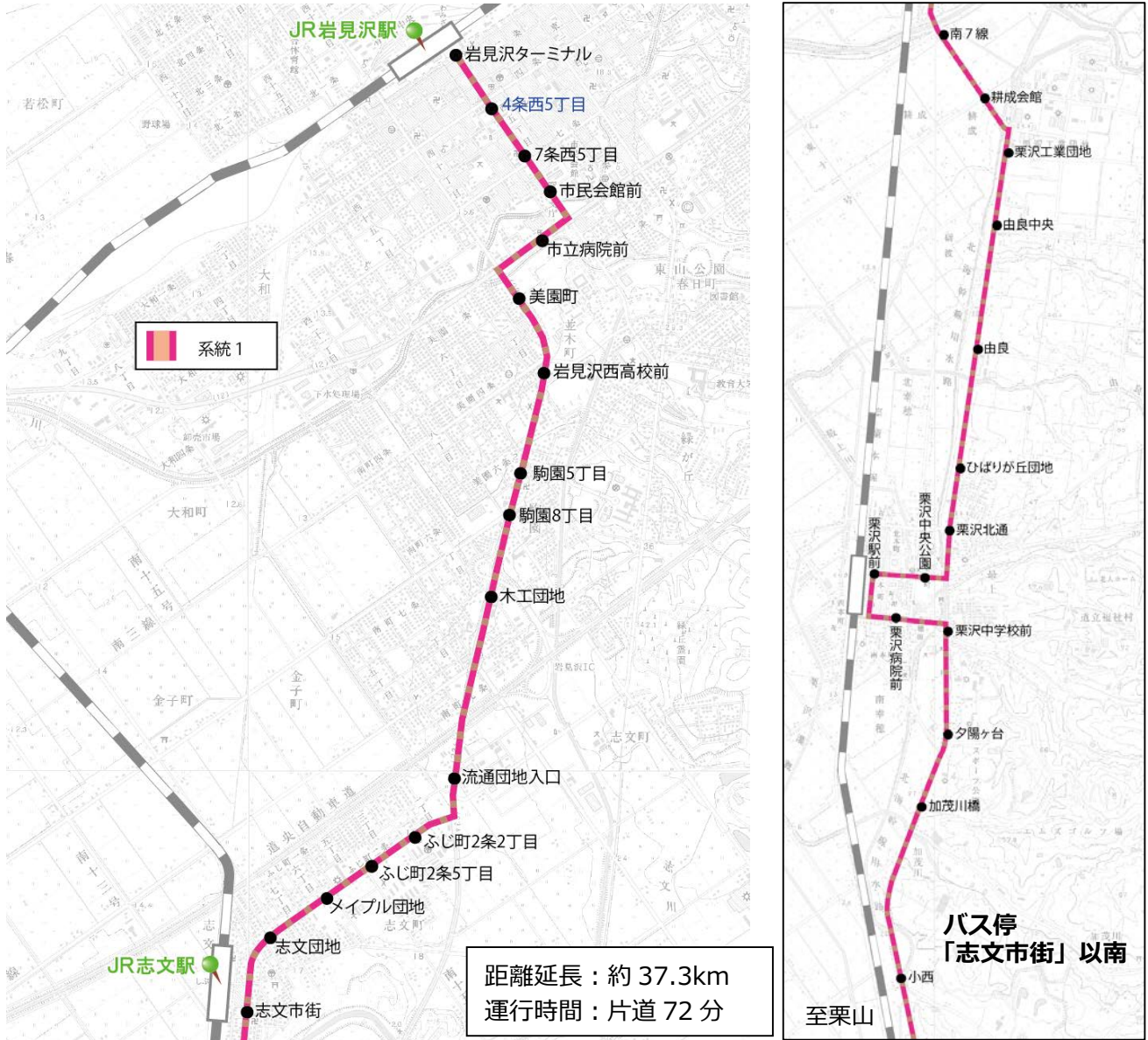
(単位：円)

		栗山駅前	
		栗沢駅前	370
		木工団地	550
岩見沢ターミナル	190	390	590

(13) 岩見沢三川線の概要

- ・岩見沢～由仁三川間を運行する唯一の路線であり、沿線住民の通勤・通学、買い物等の生活の足の確保に必要であり、原則、現状維持とする。
- ・西6丁目を運行していた路線を、安全性・速達性の観点から駅前通へ変更する。

■路線図（青色は、栗山方面の路線としては新たに停車する停留所）



■運行便数・始発・終発

	起点	平日便数	始	終	休日便数	始	終
系統 1	岩夕発	5.0	7:08	16:33	4.0	7:08	16:33
	三川駅通発	5.0	8:45	18:10	4.0	8:45	18:10

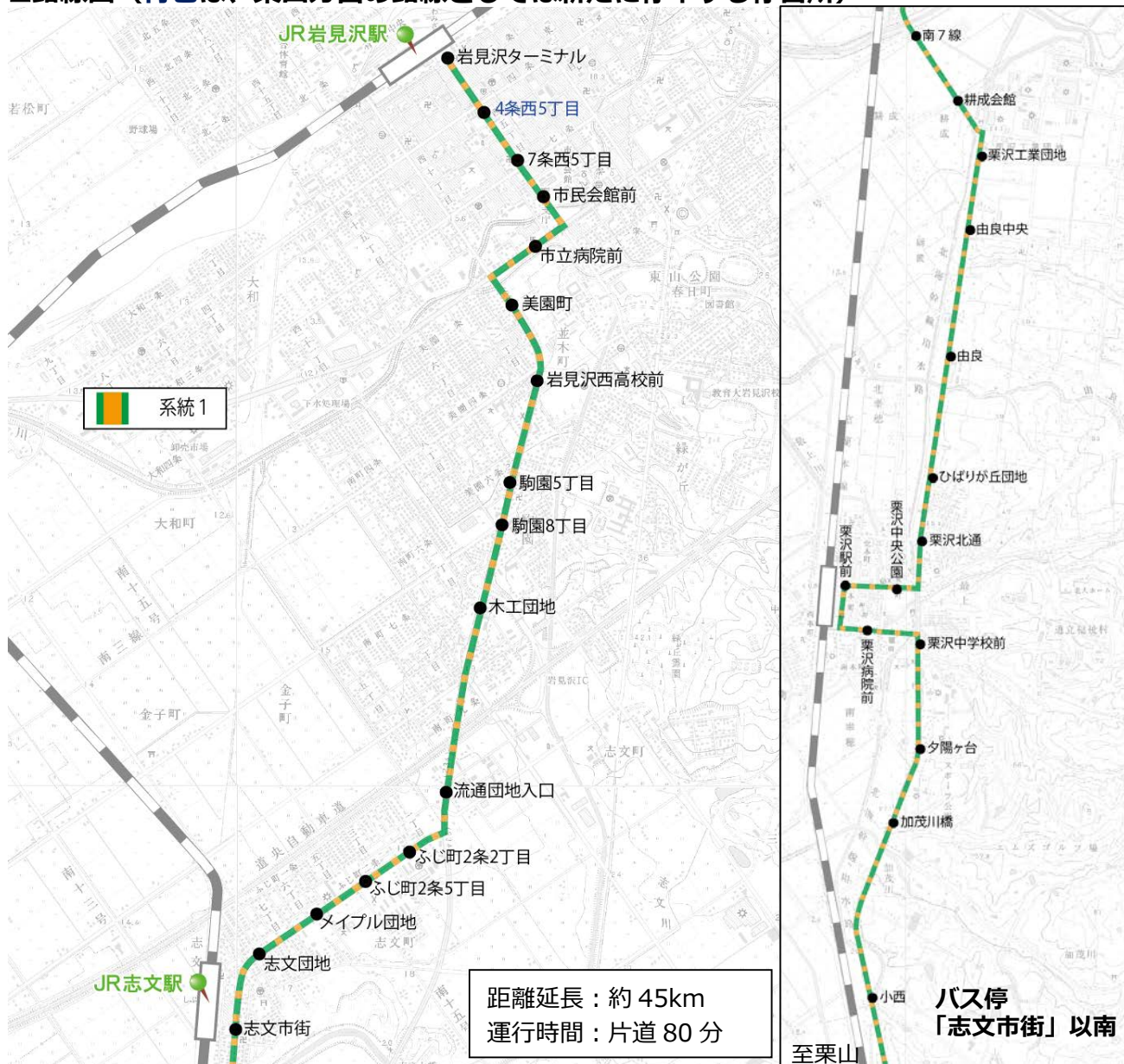
■運賃体系（記載停留所間の運賃を抜粋）

					(単位：円)	
					三川駅通	
					由仁役場前	300
					栗山駅	410
					栗沢駅前	370
					木工団地	330
岩見沢ターミナル	木工団地	330	550	790	970	
	190	390	590	830	1000	

(14) 夕張線 (旧：岩夕線) の概要

- ・岩見沢～夕張間を運行する唯一の路線であり、沿線住民の通勤・通学、買い物等の生活の足の確保に必要であり、原則、現状維持とする。
- ・西6丁目を運行していた路線を、安全性・速達性の観点から駅前通へ変更する。

■路線図 (青色は、栗山方面の路線としては新たに停車する停留所)



■運行便数・始発・終発

	起点	平日便数	始	終	休日便数	始	終
系統 1	岩夕発	1.0	6:44	-	1.0	6:44	-
	レースイ発	1.0	18:52	-	1.0	18:52	-

■運賃体系 (記載停留所間の運賃を抜粋)

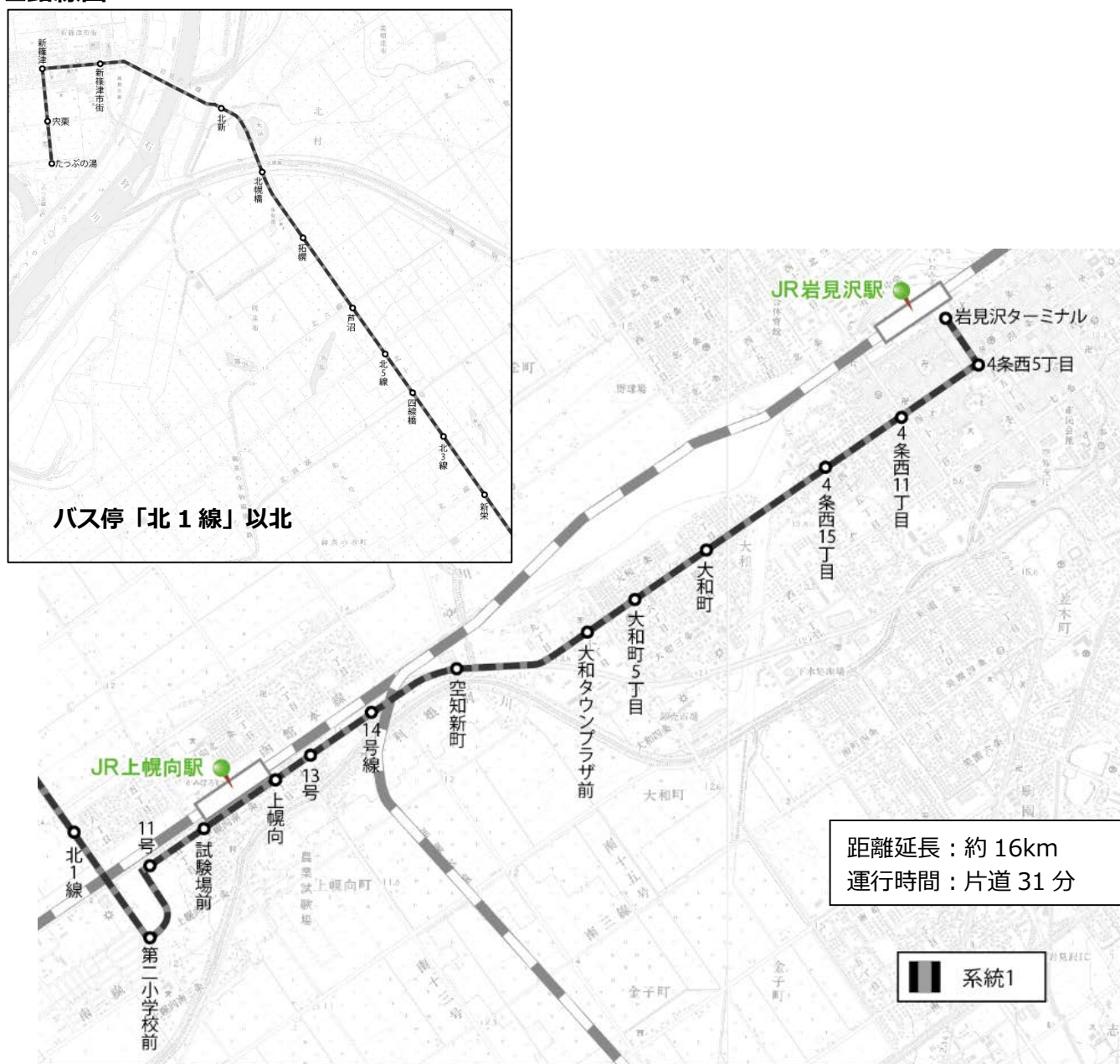
(単位：円)

		栗山駅		レースイリゾート前
		栗山駅前		950
		木工団地		1130
岩見沢 ターミナル	木工団地	330	550	1320
	190	390	590	1400

(15) 北新線の概要

- ・岩見沢～新篠津間を運行する唯一の路線であり、沿線住民の通勤・通学買い物等の生活の足の確保に必要であり、現状維持とする。

■路線図



■運行便数・始発・終発

	起点	平日便数	始	終	休日便数	始	終
系統1	岩夕発	10.0	7:30	20:00	9.0	8:00	20:00
	たつぷの湯発	10.0	6:45	19:15	9.0	7:05	19:15

■運賃体系（記載停留所間の運賃を抜粋）

（単位：円）

			たつぷの湯	
			北新	180
		上幌向	280	400
		大和タウンプラザ	180	360
岩見沢ターミナル	180	220	420	500

3 交通空白地域での新たな公共交通

■再編実施計画における新たな公共交通の対象地区

岩見沢市の交通空白地域は、岩見沢北地区（大願町、稔町、峰延町）、宝水地区といった旧岩見沢市地域に存在するほか、栗沢町岐阜、砺波、栗部地区など、旧栗沢町地域にも広がっている。

また、旧北村地域においては、住民混乗バスが運行しており、旧栗沢町地域においては、市営バス（万字線・北斗線）で農村部・中山間地域の一部の交通空白を解消している。

今回の再編においては、各地域での新たな公共交通の必要性を認識し、平成27年度に実証運行を実施した岩見沢北地区において路線バス等の公共交通機関への接続を基本とした乗合タクシーの運行を開始する。

なお、他の交通空白地域においては、地域特性やニーズの把握、実施体制の調整を行ったうえで、順次、新たな公共交通の導入を検討する。

■岩見沢北地区における新たな公共交通（予定）

運行方式：デマンド型乗合タクシー（事前予約制：前日まで）

対象地区：大願町、稔町、峰延町

便数：1日2～3往復

乗降場所：自宅～指定場所（JR 岩見沢駅・であえーる・エリアに近接するバス停〔桜木1条1丁目又は北本町〕・市立病院・市役所）

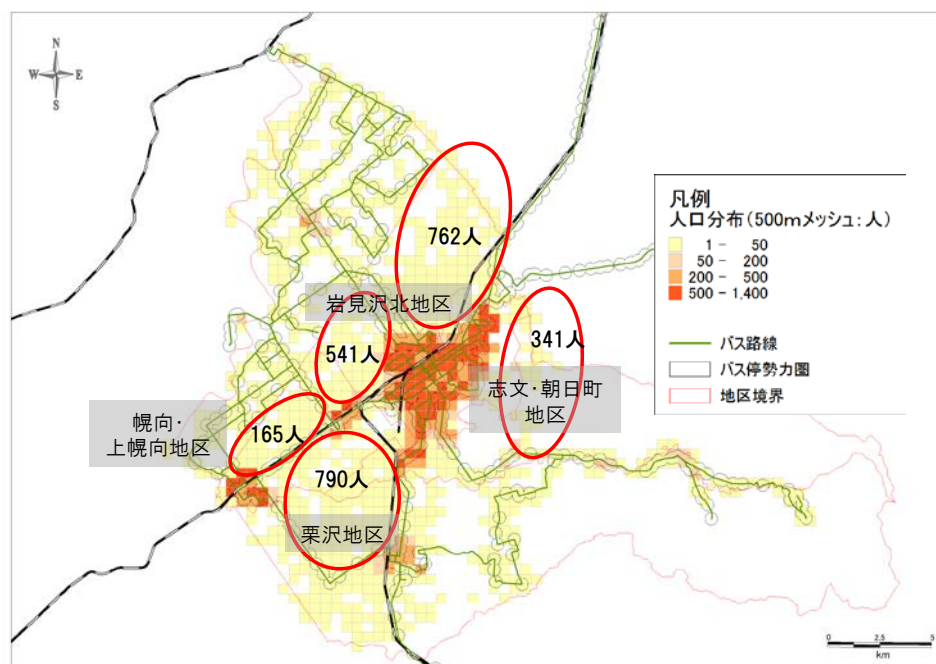
運賃：500円～距離やバス運賃との均衡を考慮し段階的に料金を設定

例：バス停〔桜木1条1丁目〕 500円程度

市立病院・市役所 1000円程度

事業者：岩見沢地区ハイヤー協会

実施時期：平成30年度 ※順次、他地域への拡大を検討



4 事業の効果

(1) 路線再編による事業の効果

項目	事業効果	網形成計画での位置付け
循環線の運行 (かえで団地循環線、日の出台・栄町循環線、鉄北循環線、南町・春日循環線の4つの循環線を導入)	<ul style="list-style-type: none"> ・両回りの導入により、通勤・通学、通院や買い物など、目的に応じた利用が可能となり、利便性が向上するとともに、運行便数の効率化を図る。 ・であえーるを経由することで、買い物・通院に対する利便性を向上させるとともに、中心市街地における乗換や待合しやすい環境を提供する。 	コンパクトな都市を形成する公共交通網の再構築
重複路線の解消	<ul style="list-style-type: none"> ・一部が重複している路線を統合や経路変更により解消し、運行の効率性を高める。 	コンパクトな都市を形成する公共交通網の再構築
狭隘道路運行の解消	<ul style="list-style-type: none"> ・経路変更により、冬季間の迂回運行や運休の発生要因の一つであった狭隘道路の運行を解消し、路線バスの安全性・定時性を高める。 	コンパクトな都市を形成する公共交通網の再構築
渋滞の解消	<ul style="list-style-type: none"> ・経路変更及び岩見沢駅前での降車地点の一部変更により、中心市街地での不要な右左折を解消することで、岩見沢駅前における交通渋滞を解消する。 	コンパクトな都市を形成する公共交通網の再構築
迂回ルートの解消	<ul style="list-style-type: none"> ・大幅な迂回ルートを行っていた幌向方面、や緑が丘方面から中心市街地へのアクセスを岩見沢駅への直線的なルートに変更することで解消し、速達性・定時性を高める。 	コンパクトな都市を形成する公共交通網の再構築
系統番号の導入、路線名・停留所名の変更	<ul style="list-style-type: none"> ・よりわかりやすい路線とするために、系統番号を導入するとともに、路線名や停留所名を地域住民だけではなく、市外からの来訪者にもわかりやすい名称に変更する。 	バス交通の利用促進策の展開

(2) ダイヤ変更による事業効果

項目	事業効果	網形成計画での位置付け
終発時刻の変更	<ul style="list-style-type: none"> ・4つの循環線においては、終発時刻を21:30以降に設定することで、通勤・通学者の帰宅の利便性を高める。 ・大和線、幌向線においても終発時刻を約1時間遅くすることで、通勤・通学者の帰宅の利便性を高める。 	市民生活の質の向上に資するバスサービスの提供
JRとの乗継を考慮した運行ダイヤへの変更	<ul style="list-style-type: none"> ・通勤・通学時間帯において、JR岩見沢駅での乗継を考慮した運行ダイヤへ変更し、広域的な移動における利便性を高める。 	市民生活の質の向上に資するバスサービスの提供

(3) 運賃制度の見直しによる事業効果

項目	事業効果	網形成計画での位置付け
循環路線における均一運賃の設定	<ul style="list-style-type: none"> ・循環路線における均一運賃を導入することで、両回りに乗車可能である循環路線の利便性を向上させる。 	再編事業に関連している事業

(4) 交通空白地域における新たな公共交通による事業効果

項目	事業効果	網形成計画での位置付け
交通空白地域における移動手段の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・岩見沢北地区において、デマンド型乗合タクシーを導入することにより、交通空白地域における移動手段を確保する。 	地域特性を考慮した効率的で持続可能な公共交通体系の構築

5 バス路線見直し案に対する市民意見

(1) 市民懇談会

開催期間：平成29年5月11日～18日（市内10カ所）

参加者総数：133名 / 質問・要望・意見等：60件

【概略】

■ルートについての意見

- ・個別には『目的地へ直行しない』『自宅近くを通らない』などの意見があったが、循環路線の設定や、速達性の向上のための迂回経路の見直し等について総体としては、概ね理解が得られた。
- ・南町における住宅街から道幅の広い道路へのルート変更に対して、一部の参加者から反対の意見があったが、利便性が上がるとの理由で賛成する意見もあった。

■ダイヤに関して

- ・時間帯別での便数の増減について説明し、概ね理解が得られた。特に夜遅い時間帯（21-22時台）の便の設定については、通勤・通学や、学習塾の送迎等の点から、利便性が高まるとの声があった。

■運賃について

- ・現行の運賃を基本として調整しており、大きな異論はなかった。

■その他

- ・市街地での回遊性を高めるため、乗換環境の向上、乗継による運賃割引についての意見があった。
- ・循環路線の導入により、乗車したい路線がわかりづらくなることを心配する意見があった。
- ・小回りの利く、小型車両導入についての要望があった。
- ・系統番号の導入についての要望があった。

(2) 市民意見募集（パブリックコメント）

開催期間：平成29年5月10日～21日

意見提出者：3名 / 意見数：11件

【意見・要望】

■循環線のルートに対する意見

- ・日の出線とかえで団地線国道経由の統合についての意見
- ・幌向線と大和線の統合についての意見
- ・日の出線・栄町線のルートについての意見
- ・南町・春日循環線のルートについての意見

■循環線以外のルート変更

- ・幌向線のルート変更（迂回解消）に対する意見
- ・三笠線のルート変更に対する意見
- ・岩見沢栗山線の時間帯別ルートへの意見

■ダイヤに対する意見

- ・大和線、幌向線、北新線の発車時刻についての意見

■運賃に対する意見

- ・区間短縮によるワンコイン運賃の導入についての意見

■その他

- ・停留所名称についての意見
- ・系統番号やローマ字表記の導入についての意見

(3) その他（電話、メール、手紙での個別の意見など）

■一町会からの要請により、個別に説明会を実施。（参加者：42名）

- ・住宅街の道路から住宅が少ない道路へのルート変更に対する反対意見があった。
- ・ルートから外れることによる除排雪への心配についての意見があった。

■駅北地区から市役所・緑が丘方面へ直行できなくなることへの反対意見があった。

■幌向線のルート変更により、遠回りが解消されることへの賛成意見があった。

